

株主のみなさまへ

2008年9月

平素のご支援、ご愛顧に対し、厚く御礼申し上げます。ここに、株主通信秋号をお送りいたします。今回は7月29日に発表した今年度第1四半期の業績を中心に報告いたします。

当四半期は米ドルに対する急激な円高、半導体の価格下落の影響を受け、前年同期比で減収となりました。損益面ではデジタルプロダクツ部門が黒字化し、社会インフラ部門も好調であったものの、半導体事業を中心に電子デバイス部門が大幅に悪化しました。その結果、誠に遺憾ながら、当四半期は

- ・売上高 1兆6,187億円 前年同期比 ▲459億円
- ・営業損益 ▲242億円 前年同期比 ▲454億円
- ・当期純損益 ▲116億円 前年同期比 ▲322億円

となりました。

なお、経営の集中と選択をさらに進めるため、裏面の「ここに注目」でご案内する案件を決定し、発表いたしました。業績への影響が確定次第、改めてご案内いたします。



代表執行役社長 **西田厚聰**

郵便はがきがき

また、当事業年度の連結業績予想は、今後の事業環境の推移を注意深く見極める必要がありますので、前回予想(4月25日発表)を変更しませんが、必要に応じて見直し、速やかに公表いたします。

引き続き、事業環境は予断を許さぬ状況ではありますが、グループ一体となってあらゆる施策を講じて業績の向上に努めますので、引き続きご支援をお願いいたします。

株主のみなさまにおかれましては、株券電子化に向けて手続きはお済みでしょうか。株券がご本人名義になっていない場合は、東芝の株主としての権利を失う可能性がありますので、本年中にどうぞ名義書換をお願いいたします。

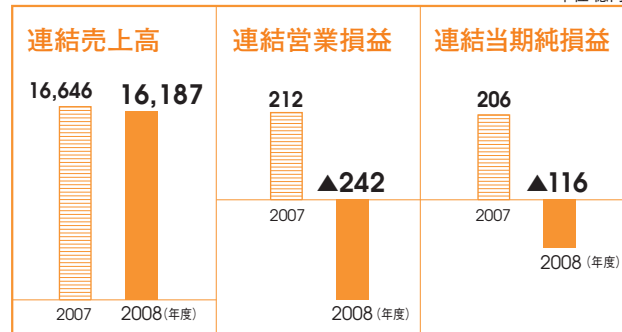
< 株券電子化についてのお問い合わせ >
中央三井信託銀行(株) 東芝専用ダイヤル
☎ 0120-78-6502

ご案内

本通信は、2008年3月末時点での株主のみなさまにお送りいたしますことをご了承ください。

2008年度第1四半期決算の概況

単位:億円



売上高

デジタルプロダクツ、電子デバイス、家庭電器、その他部門が減収

営業損益

デジタルプロダクツ、社会インフラ部門は増益、電子デバイス、家庭電器部門は悪化

当期純損益

営業損益を中心に悪化

決算

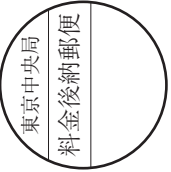
Q&A



半導体事業の業績悪化、今後の設備投資計画について説明してほしい

A

デジタル機器向けを中心としたシステムLSIの不振、NAND型フラッシュメモリの大幅な価格下落、さらには円高の影響等により減収となり、営業損益は赤字でした。今後の設備投資については、市場動向を見極めながら、将来の成長を考慮した上で実施の可否を慎重に判断していきます。



親展

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

株式会社東芝 株主通信 2008年秋号

株主のみなさまと東芝をつなぐ情報誌

株式会社東芝

株主名簿管理人
事務取扱所

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

東京都杉並区和泉二丁目8番4号(証券代行事務センター)

郵便番号 168-0063 電話 0120-78-6502(フリーダイヤル)

まずこちらを

1 開く

濡れている場合はよく乾かしてからめくってください

ここに注目

7月22日
発表

野村不動産ホールディングス(株)との不動産事業分野における提携関係の構築について

当社は、保有する東芝不動産(株)株式の一部を野村不動産ホールディングス(株)に譲渡して同社の連結子会社とし、不動産分野で提携関係を構築することを基本合意しました。株式譲渡益約700億円(税引前、概算)を見込んでいます。

7月29日
発表

モバイル放送(株)の放送事業終了について

当社連結子会社のモバイル放送(株)は、移動体向けデジタルマルチメディア放送事業の拡大を目指しましたが、事業継続を困難と判断し、当該事業の終了を決定しました。お客様を始め関係者への影響が最小限となるよう、同社に必要な支援を行っていく予定です。事業終了に伴い当社に発生する費用は、今年度約250億円(概算)を見込んでいます。

「経営戦略・中期計画」に関するホームページアンケートの結果について

6月2日から約1ヶ月間、当社のホームページ上で実施したアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。集計結果の概要を以下のページでご案内しています。

<http://www.toshiba.co.jp/about/ir/jp/enquete.htm>

CSR*の取り組み

*企業の社会的責任

地球温暖化に対応し白熱電球の生産を中止

東芝は、120年前に日本で最初の白熱電球を実用化して以来、常に最先端の「あかり」を提供してきましたが、地球温暖化問題に対応し、2010年中に一般白熱電球の生産を中止することとしました。今後は、照明光源をより発光効率の高い電球形蛍光灯、LED(発光ダイオード)へと移行し、より環境に調和し、人々が真に必要とする「あかり」「ひかり」という価値を提供していきます。



※ CO2排出量は、白熱電球(60W形ミニクリダウナライト)、蛍光灯(ネオボールZ(D15形)ダウナライト)、LED照明(高効率E-CORE60)を同程度の照度で比較したものです。

株主通信へのご意見・資料請求

ホームページ

<http://www.toshiba.co.jp/about/ir/>

「お問い合わせ」ページからお送りください。

書面

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

株式会社東芝 広報室 あてにお送りください。

本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と大きく異なることがありますことをご承知おきください。

